

ほうさやまかずお 市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山 数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212
E-mail:ho-kazuo@kami-nei.ne.jp
http://www.housayama-kazuo.com/

婦中・山田
地域ワーク
ショップ

まちづくりと公共施設の
「これから」を考える

**12月19日(土)婦中行政センター
12月20日(日)山田公民館で開催！！**



婦中地域でのワークショップの様相

本市では、平成28年度に今後40年間の公共施設等の整備・管理運営等の基本となる『富山市公共施設等総合管理計画』を策定し、翌29年には、具体的な行動計画となる『富山市公共施設マネジメントアクションプラン』を策定しました。

アクションプランでは、基本方針として『まちづくりと連動した施設のあり方の検討』を掲げ、富山市都市マスタープランにより定めた富山市内の14地域において地域別実行計画を策定することとしました。

策定においては、地域の実情やお住いの皆様の意見を反映させるため、住民の皆様によるワークショップを開催しています。令和2年度は、婦中・

山田地域で開催し、その経過については、婦中ニューズレター、山田ニューズレターで、それぞれお知らせし、更にオープンハウス（パネル展示型説明会）を婦中地域では、婦中ふれあい館、婦中ショッピングセンターパピで、山田地域は、文化祭にあわせて山田公民館でそれぞれ開催し、広くご意見を募集してきました。

第4回（最後）のワークショップを傍聴しませんか？

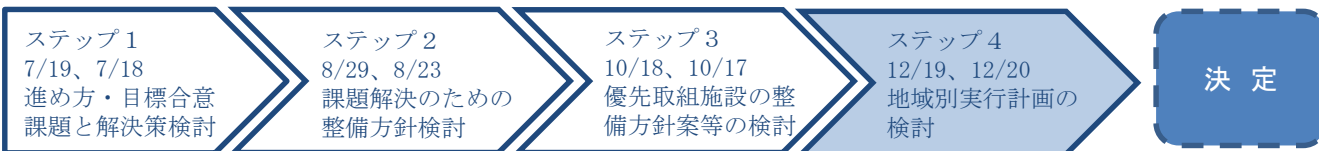
婦中地域 12月19日（土）13時30分～ 婦中行政センター
山田地域 12月20日（日）13時30分～ 山田公民館

※ 傍聴される場合は、事前にTel076-443-2021 富山市行政経営課まで、ご連絡のうえご参加下さい。

以下、富山市ホームページ「婦中・山田地域のまちづくりと公共施設の「これから」を考えるワークショップ」から引用

ワークショップの進め方とスケジュール

本市では、このワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいたご意見を反映させた、婦中・山田地域における公共施設の用途別に将来の整備方針を定める「地域実行計画」を策定します。策定までは、下図のように段階的に検討を進めます。

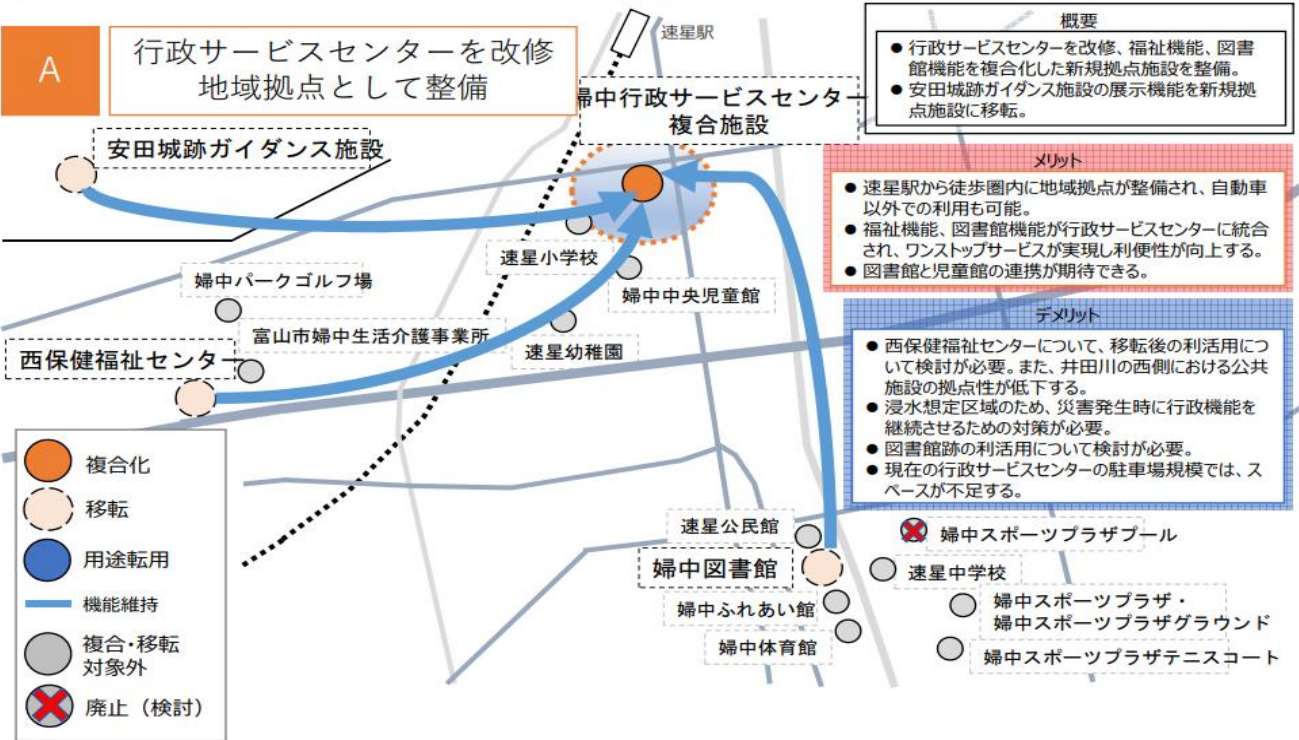


※各ステップの下段の日付は、婦中・山田地域それぞれで開催(予定)された日付です。

まちづくり・公共施設全般に関する課題の方向性（婦中地域）

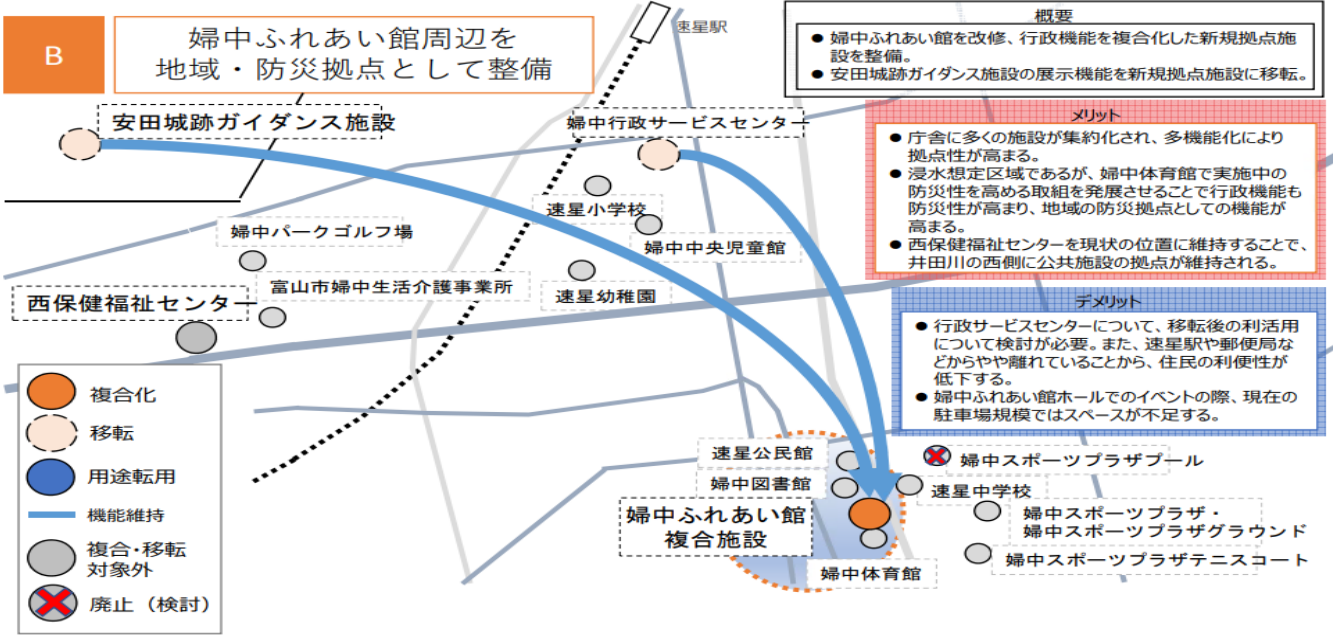
視 点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性（案）
① 地域全体の活性化 ・地域の中心が不明確	● 地域の中心となる地域を定めて、地域に必要な機能を集中させる。
② 地区の維持・発展 ・地区の最低限必要な機能を残すべき	● 地区ごとに活動拠点を確保する。
③ 子育て環境の充実 ・地域内で子育てできる環境を確保すべき ・子どもの遊び場が不足	● 公共施設の整備・活用を通じて地域全体で子育て環境を充実させる。
④ 利便性の向上 ・アクセスの確保が必要 ・地域中心部の施設の駐車場の不足	● 地域の中心へのアクセスを確保する。 ● 施設整備と合わせて駐車場を確保する。
⑤ 安全性の確保 ・避難場所の不安（水害）	● 避難所を地区ごとに確保する。 ● 危険が予測される河川の近傍への配置を避けるよう配慮する。
⑥ 将来負担の軽減 ・利用の少ない施設、余剰床の施設	● 利用率が低い施設や余剰のある施設は整理統廃合を検討する。

【婦中地域】優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針(案)



A案についてのワークショップでの主なご意見

- ・西保健福祉センターは福祉ゾーンを中心施設であり、地域内の公共施設のバランスや、婦中地域以外からのアクセスを考慮して配置されている。福祉ゾーン内の施設間での連携も図れているので、移転の必要はないと思う。
- ・行政サービスセンターは多様な年代の人が多く訪れる場なので、病気の感染リスクが高いと思う。そこに西保健センターを移転したら、妊婦や子供連れの人は抵抗があるのではないかと。西保健福祉センターの近くには広い芝生の公園があるので検診後に子供を遊ばせることもできるし、今の立地の方が安心感があって使いやすいと思う。
- ・行政サービスセンターには図書館と安田城跡ガイダンス施設だけを集約したらよいと思う。そうすれば公共施設が分散配置されるので駐車場の確保がしやすく、周辺道路の渋滞しにくくなるだろう。
- ・婦中図書館が行政サービスセンターに移転すると、小学校に近くなるので小学生が行きやすくなり、子供たちを見守る目も増えるので安全面でもよいと思う。速星駅にも近いので高校生にとっても使いやすいと思う。中学校からは遠くなるが中学生なら歩ける距離ではないか。
- ・婦中図書館は中学生が勉強や下校時の親との待ち合わせのため利用しており、学校から遠くなると不便になるため、今の場所で維持する方がよい。もし移転する場合には、ふれあい館周辺に学習室や待ち合わせのスペースを設けて欲しい。



B案についてのワークショップでの主なご意見

- ・西保健福祉センターを今のまま維持できるのに加え、ふれあい館に機能を複合することで拠点性も高まる点が良い。速星駅から離れていることは、駅の利用者がさほど多くないことを考えると大きなデメリットにはならないだろう。
- ・行政サービスセンターをふれあい館周辺に移転することで、地域内の公共施設のバランスが悪くなって地区間の発展格差が出たり、小学校の周りに公共施設がなくなって子供を見守る目が少なくなることが心配だ。
- ・ふれあい館には、行政サービスセンターの機能を複合するだけのスペースがないのではないか。婦中ふれあい館周辺にどのくらいの空きスペースがあるのかわからないので案の評価がしづらいが、増築の必要があるとコストがかかり、市の財政のためコストを下げるといった目的に反すると思う。
- ・ふれあい館周辺に行政サービスセンターを移転すると、ホールでのイベントや大会、速星中学校での催しなどの際に、現状でも足りない駐車場が更に足りなくなることが心配だ。施設周辺の道路の渋滞も発生するのではないかと。
- ・行政サービスセンターは災害時に浸水の恐れがあることや婦中体育館で防災の取り組みが行われていることを踏まえると、ふれあい館周辺を防災拠点として整備するのは妥当だと思う。
- ・災害時には道路の遮断や川の氾濫がありえるので、ふれあい館周辺に防災拠点ができて恩恵を受ける住民が偏ってしまう。地区の防災拠点にはなるが、地域全体の防災拠点にはならないのではないかと。

A案・B案に共通のワークショップでの主なご意見

- ・西保健福祉センター、行政サービスセンター、ふれあい館は移転せずに長寿命化して使い続ける方が、移転に伴う大きなコストがかからないのでよいと思う。
- ・安田城跡ガイダンス施設の展示品は単独で展示するのではなく、他の施設にある旧婦中町に関連する資料などと一緒で展示したり、埋蔵文化財センターに移転する方がよいと思う。あるいは、図書館に複合化してパネルなどで展示を行い、図書館で歴史についても調べられるようにするとよいのではないかと。
- ・城跡以外にガイダンス施設を設置している事例は国内にそうないだろう。安田城跡ガイダンス施設は規模を縮小したとしても今の場所にあった方がよい。
- ・市が施設を集約化してコストを削減したいのは理解できるが、集約化した結果、施設がなくなった地区が不便になるのではないかと。施設を集約化が行政サービスの低下につながるかと心配だ。
- ・婦中地域ではすぐに人口が減少するわけではないので、行政サービスセンターを長寿命化して使い続け、10年後に状況の変化を見て今後の整備方針を検討することにはどうか。
- ・施設を集約化する場合、いずれの案でも建物の改修が必要になると思うが、改修中代替施設についても検討してほしい。

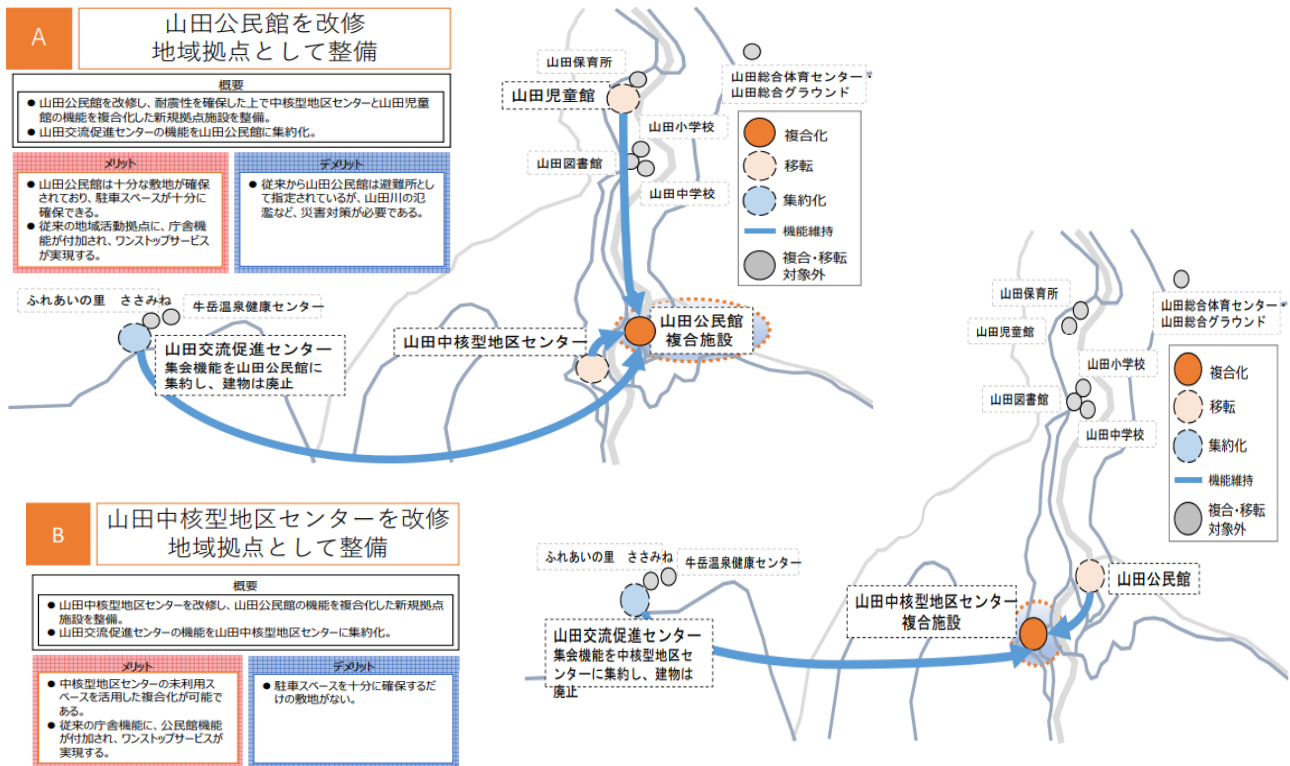
A・B案以外の施設

施設名	整備方針(案)	ワークショップでの意見
婦中スポーツプラザプール	利用者が少なく地域内に代替施設があり、将来に渡って改善が見込まれないことが予想されるため、廃止を検討	温水プール等が主流になっている中、改修しても利用はみこめないのでは。利用率とコストが見合わないのであれば、廃止を検討してもよいと思う。
婦中体育館音川分館	同上	耐震工事がされておらず、維持管理の人でもない。地区以外の利用も期待できず廃止もやむを得ないと思う。
笹倉地区コミュニティセンター	民間や地元への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止	地区住民が残す意向が強いのなら、地区で努力をするべき。現状でも地区で管理しているので問題はないと思う。

まちづくり・公共施設全般に関する課題の方向性（山田地域）

視 点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性（案）
① 地域拠点を核とした活性化 ・人口減少への対応が必要 ・地域コミュニティ維持のため多世代が利用できる施設が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代に魅力を感じてもらえるような、施設づくり、空き家の活用、働く環境の整備を行う。 ● 地域コミュニティの核となる多世代が交流できる場を確保する。 ● 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加を図る。
② 地域資源の有効活用 ・観光施設、レクリエーション施設の有効活用が必要 ・稼働率を上げるための工夫が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光施設やレクリエーション施設は運営面で連携させて、地域として外から多くの方に山田地域に来てもらう工夫を行う。 ● 観光施設・レクリエーション施設の魅力向上のため、民間のノウハウを活用する。 ● 他地域の方の利用を促進するため、積極的な情報発信や誘致の仕組みを取り入れるなど運営面を強化する。
③ 子育て環境の充実 ・園児、児童、生徒数の減少	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て環境を維持するための工夫を図る。
④ 安全性の確保 ・避難所へのアクセスの確保 ・施設の老朽化、耐震性への対応が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所や避難経路の安全性を確保する。 ● 災害時の司令拠点となる中核型地区センターの、災害時の事業継続性を確保する。
⑤ 将来負担の軽減 ・将来の人口規模を見据えた施設の整理が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能が重複している施設の整理を行う。 ● 老朽化した施設や余剰床のある施設は、他施設との複合化や廃止を検討する。

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）



A案・B案に共通のワークショップでの主なご意見

- ・ 山田公民館と山田中核型地区センターを複合化することで、設備も機能も充実し、利便性が高まるので、魅力的なコミュニティ施設になるだろう。
- ・ 山田交流促進センターは、まだ利用できると思う。多目的施設にするなどして、残すことを検討してほしい。

※ 詳しくは、「富山市婦中・山田地域まちづくりと公共施設のこれからを考える」で検索して下さい。